

「人食いバクテリア」 感染最悪

今年263人

手足の壊死や意識障害を引き起こし、死に至る恐れもある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」の今年の患者数が、12月中旬で263人となり、調査を始めた1999年以降最悪となった。

国立感染症研究所は、激しい喉の痛みや手足の腫れなど、感染が疑われる症状があれば、医療機関を速やかに受診するよう呼びかけている。

感染研によると、2010年までの患者数は多い年でも年100人前後だったが、12年以降は200人を超えている。今年12月14日までで263人とやはり、最悪だった12年(242人)をすでに上回った。東京(41人)、神奈川(19人)、愛知(18人)が多い。

壊死や意識障害招く

子どもの咽頭炎やとびひを起すA群溶連菌などが原因。喉などの粘膜や皮膚の傷口から感染するとされるが、どういふ場合に劇症化するのかなど詳しいことはわかっていない。

38度を超える発熱や傷口の激しい痛みや腫れなどの初期症状から急激に悪化し、数日以内にショック症状や多臓器不全などに陥ることがある。抗菌薬による早期治療が重要だが、昨年は20人が亡くなった。手足や顔などの筋膜組織が壊死することもあり、「人食いバクテリア」とも呼ばれる。

感染研は「溶連菌に感染しないように、日頃から手洗いなどの対策を心がけ、症状があれば直ちに医療機関で適切な治療を受けてほしい」と話している。

RSウイルス拡大続く

乳幼児の重い肺炎や気管支炎の原因となるRSウイルスの流行の拡大が続ぎ、国立感染症研究所は24日、1週間あたりの患者数が4週連続で過去最悪を更新した、と発表した。

小児科のある全国約3000医療機関が報告した患者数は今月8〜14日で8180人に達し、前週(12月1〜7日)の6851人を大きく上回った。2003年の調査開始以降、初めて8000人を超えた。北海道、大阪、東京の患者数が多かった。

RSウイルスは、感染者のせきやくしゃまつを吸い込んだ手で口や鼻にして感染する。

2歳までにはほとんどが感染する長の子供や健康半は、鼻水や軽など普通の風邪まる。

だが、初めてか月未満の乳児気管支炎を引きやすく、呼吸器がある高齢者も手れがある。09〜人前後、昨年はなった。

円安、2週間ぶり120円台

祝日明け24日の東京外国為替市場の円相場は、円売

が強まった。

対ユーロでは、同01銭円

安・ユーロ高の1円114

6円72〜76銭で取引されて

いる。

1ポンド120円48〜50銭で

米、99円高

市場でダウ平均株価(30種)が初めて1万8000ポンドの大台を突破した流れを受けた。外国為替市場で円相場が1ポンド120円台と円安傾向で推移しているため、自動車など輸出関連株の値上がりが目立っている。



ランド北部ラップランド
村から、恒例のクリスマス
するサンタクローズ (AP)

割合が高かった
相田准教授は
設住宅から災害
どへの移転が進
るが、人々のつ
慮して、移転を
だ」と話す。

北アイル